

こうき Kōta

議会だより

VOL.
103
2002 2月1日



自慢の凧
大空に舞いあがれ！

(こうた凧揚げまつり)

特集 『新春座談会』…女性から見た議会

- 6 新しい行政区「桜坂」できる
- 8 一般質問「生ごみの堆肥化に向けて」など9人が登壇
- 16 わが町を思う I LOVE TOWN・時の話題
- 18 視察レポート 『3委員会が行政視察する』

特別企画

新春座談会

もつと身近な議会に

女性6人からの提言



年頭のあいさつ

議長 清水 忍

町民の皆さん、輝かしい新年をお健やかに迎えられ、心よりお慶び申し上げます。昨年は21世紀最初の年ということで、希望と期待で迎えた年であったと思います。しかしながら景気の低迷が続く中、アメリカで起きた同時多発テロ事件以来世界的に経済と平和に不安の影を落しました。

本年も経済的な厳しさは依然として続くものと思われませんが、こうした時こそ町をあげて英知を結集し、夢と希望のもてる町にしなければと思います。議会としましては地方分権、市町村合併等の諸問題、山積する諸事業に真剣に取り組んでまいります。皆さんにとっても、町にとっても良い年になるようにご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。



▲ 応接室にて開催された座談会

座談会の出席者

坂崎学区	石	原	信	子	さん
幸田学区	磯	部	知	津	さん
中央学区	近	藤	典	栄	さん
荻谷学区	鈴	木	範	子	さん
豊坂学区	天	野	と	江	さん
深溝学区	日	高	容	子	さん
議長	清	水	高	忍	
委員長	加	藤		明	

今回町内より女性6人集っていただき議会や議員に町民の皆さんが、何を望んでいるか、町に対して、どのようなことを考え、要望されているのか、また、議会だよりに関しての色々なご意見等、話し合っていました。

親しまれる議会 議会広報を

司会者 皆さん今日は、お忙しいところ大変ご苦勞さまで。

本日は女性6人の方に集っていただき、幸田町の議会、議会広報に対する、ご意見をお聞きしたいと思えます。まず議会だよりを読んだ感想をお話し下さい。

磯部 学校関係とか、子どもに関する身近な記事は読みますが、議会に関する

記事は、難しいと言う先入観があつて、あまり読みません。しかし、子ども議会の記事は、興味もあり、良かった。

日高 理事者の答えが明確化していないと思います。「・・・検討、努力」と言う言葉が多くばやけている。

鈴木 自分に興味のあるものは読むが、難しい内容はあまり読みません。

記事は、難しいと言う先入観があつて、あまり読みません。しかし、子ども議会の記事は、興味もあり、良かった。



日高さん

近藤 見出しは全部読みます、表紙の感じ、レイアウト、色づかいは大変良く読みやすいと思います。ただし、難しい表現や、意味の理解できないところもあります。

委員長 見出しには特に注意をし、まずは読んでいただくような配置、写真などを心がけています。

近藤 見出しは全部読みます、表紙の感じ、レイアウト、色づかいは大変良く読みやすいと思います。ただし、難しい表現や、意味の理解できないところもあります。



近藤さん

石原 補助教員の記事については関心がありました。「わが町を思う」「私の好きな言葉」など身近な方の記事は良いと思う。イラストも入って感じがよい。

天野 一般質問の見出しは、質問と答弁が隣に書いてあつて、分かりやすい。それに、議員さんの顔写真も入っていてとても良いと思います。名前だけだと分からないから。



天野さん

わかりやすい 記事表現に

司会者 次に議会だよりに対する要望は何かありますか。

近藤 各組織の役割の中から、多くの人に議会傍聴に関心を持っていただく方法を考えては。

委員長 こうした広報と違って、年4回の発行のため町民になじみが薄いと思われる。町民の声も多く入れ、親しみのある、また読んでいただける議会だよりに努力します。

磯部 女性（主婦）に関する記事を多く掲載してほしい。「・・・協議します、検討します」と言う表現が多く、将来、いつ頃か、はつきりした回答がほしい。その後どうなったか分からない。

委員長 以前に、その後どうなったか、という追跡調査の記事を掲載したこともあります。また特集をくんで考えていきます。

天野 一般質問の最後に「・・・を問う」と、問切り句読で硬い感じがする。もっとやわらかい表現をし



磯部さん

たらどうでしょう。
委員長 議会人として「・・・をお願いします」と言う言葉は避けています。
鈴木 文章が途中で切れて読みづらいところがあり、工夫をしてほしい。
石原 今後も身近な人の記事を載せてほしい。

司会者 ありがとうございます
 次は議会、町政に対する
 意見、要望などがあります
 か。
近藤 町政モニター制度
 の構成について、幅広い年
 齢層からの構成が大切だ
 と思います。意見、要望を反
 映できる場にしていただき
 たい。
委員長 町民会館について
 どう思われますか。



町民会館に 多彩な催しを

磯部 町民会館ができて、
 地元で催しものが見られる。
 音楽に関しては、人間の感
 性が養われ、お金にはかえら
 れないと思います。今後も
 色々企画して下さい。
石原 発表会を行なうに
 は非常に良いが、もう少し
 使用料金を安くしてほしい。
鈴木 他の会館より客席
 が広く取ってあって、また



鈴木 さん

舞台も広く使いやすく、見
 やすいと思います。
 図書館も多くの方が利用



しており、分からない本は
 パソコンで検索できて良い
 と思います。
天野 あじさいコンサー
 トのように安い料金で音楽
 を聞ける催しなど、好評で
 大変良いと思います。町民
 会館ができて非常に良かつ
 たと思います。
議長 皆さんの要望に少
 しも応えて、充実した事
 業を考えていきたいと思っ
 ます。皆さんも色々な催し
 に多く参加して下さい。
司会者 最後に幸田町に対
 する思い、要望などお聞か
 せ下さい。

私からの提案

石原 来年度から学校が
 週5日制になり、学童保育
 の充実をしてほしい。

登校拒否の生徒について、
 心のケアを親にも教えてい
 ただきたい。

路線バスの運行が減って
 きており、増やしてほしい。
磯部 親や子どもの考え
 方が先生と違う場合の対処
 方法を考えてほしい。

町をきれいにする観点か
 ら、ゴミの集積場所を完備
 型にし、統一化してほしい。
近藤 子どもの学力低下
 は本を読まないことから
 と言われている。学校に補
 助教員を増し、司書資格の
 ある方を配置してほしい。

心身障害者の義務教育終
 了後の施設の充実を図って
 いただきたい。
 年末年始のゴミ収集を、
 どこか一箇所置き場を確保
 してほしい。

鈴木 幸田町内でお金を
 落とす(買物等で)方法を
 考えていただきたい。
 心が和むような町づくり、



石原 さん

緑化を多く取り入れた町に、
 ゴミに関する町民のモラル
 を高める働きかけに取り
 組んで下さい。



最後になりましたが、皆さまにとりまして、幸多き年になりますよう祈念申し上げます、この座談会を閉じたいと思います。大変ありがとうございました。

これからの幸田町
に望むこと

学童保育の充実を

ゴミの集積場所の完備統一化

心身障害者の施設充実は

心の和む緑化の町を

洪水・渇水対策は

福祉バスの運用方法の検討を

石原さん

磯部さん

近藤さん

鈴木さん

天野さん

日高さん



▲町民に親しまれる議会だより
(新春駅伝)

12月 定例会の あらまし

新たな行政区

桜坂 誕生

字の区域変更

平成13年第4回定例会は、12月3日から21日までの19日間の会期で開会した。
今定例会では、平成13年度一般会計および介護保険特別会計などの補正予算や字の区域の変更など18件が上程され、慎重に審議した結果、すべて原案どおり可決した。一般質問では9人の議員が質問に立ち、町政全般にわたりました。



新しい行政区・桜坂ができる
(住宅開発現場)

トヨタ自動車(株)による住宅開発に伴い、住宅への入居が平成14年から始まるため、行政運営の効率化、地域コミュニティを推進するために、新たな行政区が必要となりました。

Q 新しい行政区、「桜坂」とした経緯は

A 最終的に関係する5区(岩堀、横落、荻、芦谷、幸田)と町とで協議のうえまとめたものである。

Q 学区、コミュニティの問題は

A 新行政区の規模など将来視野に立って、関係区の同意により、自立区とした。

今後は町・開発業者および隣接する行政区等の協力をもって支援を行います。

火災予防条例の改正

ます。(全員賛成で可決)

消防法等の改正に伴い、火災予防条例を改正しました。

改正の概要

- ・引火点250度以上のものが指定可燃物に追加された。
- ・規制緩和に伴い、災害発生を防止するために十分な措置をする。
- ・移動タンクの排出口の弁などの損害を防止するための措置をする。

Q 250度で引火する危険物が危険物から除外され、可燃物に指定されるのはなぜか。

A 第4類液体で指定した液体類は危険が少ないために緩和された。町としても火災等に万



▲ 町民の生命を守る救急車を購入
(現在の高規格救急車)

町民の生命を守る救急車取得

全を期して各企業に指導し、町民の生命と財産を守るため努力します。
(反対2・賛成18で可決)

Q 3台同時に救急車が出動した場合、現在の救急隊員で対応できるか。

A 現体制は2台救急車が出動すると、最低3人の非番者を招集する体制になっていますので、運用に支障をきたすとは考えておりません。
(全員賛成で可決)

人事案件

固定資産評価審査委員

本多 勝氏(60歳・新田)の選任を同意

(全員賛成で同意)

おもな 追加予算

■ 保育園の円滑な運営に 1,800万円

乳児(3歳未満児)の受け入れにより、職員の不足分を補うための嘱託員報酬にあてるものです。

■ CATVの導入に 500万円

CATV設置に伴う企業への出資金です。



■ 道路新設、改良に 1,780万円

道路新設などの整備による用地の買収費用です。

■ 教育関係に 930万円

芦谷公民館の改修、大日陰のグラウンド・ゴルフ場に芝目土入れなどの費用です。

■ 消防庁舎の補修に 300万円

消防庁舎の雨漏りの補修工事にあてるものです。

保育の充実など 5、880万円

追加

主な質疑

Q 保育業務嘱託員の報酬の内訳は。

12月定例会の補正予算は保育園の管理に1、800万円など、6議案が上程されいづれも原案どおり全員賛成で可決しました。
主な追加予算は次のとおりです。

A 当初の嘱託保育士46人を55人とし、円滑な保育園の運営を行う。

Q 生ゴミ処理機の実績とその成果は

A 今まで193台の申請があり、堆肥化を行っている箇所からすると、約14トンの減量化につながっていると思う。

Q 生ゴミ処理機の補助だ

けではなく、剪定枝の処理機も対象とする考えは、

A 小型の剪定枝処理機は、機器の性能がまだ不安定で今のところ考えはない。

Q 教育費の職員手当等の増額は年間行事の進め方に甘さがあったのでは

A 事業の性格上土、日曜日などに開催せざるを得なく対応しており、今後

とも効率的な事務処理に鋭意努めます。

Q 法人税の今後の税収見込みは

A 今年度は調定見込み額の増額が見込まれるが、来年度以降は自動車関連でわずかな伸びが予想されるが、大幅な税収は期待できないと思う。

Q 下水道事業の負担金、前納奨励金の率を変更する考えはあるか

A 既に報奨制度が始まっていることや、近隣市町とのバランスを考えると、現制度で行っていきたい。

審議された他の議案

■ 単行議案

- ・大草山添の土地区画整理事業の施行に伴う、字の区域変更…………… (全員賛成・可決)
- ・深溝小杉山地区の土地改良事業の施行に伴う、字の区域変更…………… (全員賛成・可決)
- ・菱池御林の住宅開発による行政区の設置に伴う、区長設置の改正…………… (全員賛成・可決)
- ・町長の資産等を公開する条例の改正…………… (全員賛成・可決)
- ・議員および特別職の期末手当に関する条例の改正…………… (全員賛成・可決)
- ・職員および企業職員の期末手当等に関する条例の改正…………… (全員賛成・可決)

■ 13年度補正予算

- ・一般会計…………… (全員賛成・可決)
- ・特別会計— 4件…………… (全員賛成・可決)
- ・水道事業会計…………… (全員賛成・可決)

■ 陳 情

- ・議員定数削減の陳情…………… (全員反対・不採択)
- ・医療・介護・福祉の充実と雇用保障を求める陳情…………… (賛成2、反対19・不採択)
- ・食品衛生法の改正と運用強化に関する陳情…………… (賛成2、反対19・不採択)

臨時会

平成13年11月9日第2回臨時会が、1日間の日程で開催し一般会計の補正予算を原案どおり全員賛成で可決しました。

■ 主な内容は

- ・高規格救急車の購入に3、600万円
- ・インフルエンザ予防接種の委託料に850万円を追加する。

町づくり 町の考えは？

ここが聞きたい

Q & A

Q 地方分権一括法が昨年成立し、国から地方への委任事務が増加し、本町の財政悪化を一層加速させるのではないかと危惧するものである。
行財政改革は、組織の再編、管理業務の一元化、財政再建計画などの施策が必要と考えられる、次の3点について問う。

(1) 行政組織再編の考えは
(2) 職員の意識改革、自己改革の成果は
(3) 財政再建・計画と、2002年度の予算編成で歳出削減の考えは。



黒柳広治 議員

行財政改革を早期に
組織の再編を進める

A (1) これまでに4課3係を削減した。引き続き活性化に努めていきます。
(2) 接遇研修等を通じて、自覚および内部協力の仕方を実践的に研修、修得し、職場単位でのリーダーの養成を行い成果は上がっています。
(3) 政策的な受益の関係をしながら、補助金、助成金などを削減し、適切妥当な額を探り、財政計画予算編成に努めます。



▲ 財政の再建計画を（役場仕事始め式）





鈴木修一 議員

地震対策を早急に 対策を講ずる

Q 政府の地震調査会が今後30年以内に、東南海地震50%、南海地震40%の発生があると発表しました。

(1) 東海地震では今年6月の見直しで、想定震源域が西に大きく広がったと発表した。

このことから本町も、地震対策強化地域に指定されるが、防災計画の見直しは

(2) 阪神、淡路大震災では火災により尊い人命が多く失われた。消防力を強化すべきと考えるが。



▲ 消防力の強化を
(消防出初め式)

(3) 毎年防災訓練を実施しているが、マンネリ化画一化されている。見直す考えは。

A 11月28日東海地震対策特別専門会において、具体的な地域が示され、本町もその地震強化地域に入った。避難場所となる小中学校を中心に再度耐震調査を計画的に進めていく。

(1) 県の防災計画の見直しで、段階で改正を行う。

(2) 消防団、地域の消防防災会など、体制整備、充実に努める。

(3) 防災訓練実施など同じ訓練を何回か繰り返すことによって、訓練の成果がでると考えている。



▲ 農業体験を生かした教育に

Q 人間は植物や花を育てることで人の心をいやす効果があるといわれています。

来月4月から小中学校では、総合的学習の時間が始まる。その中に農業体験を生かした教育を取り入れる考えは。

野菜の摂取不足と生活習慣病に強い相関関係がありますが、教育の場で消費拡大につながる事業を進める考えは。

農業後継者の減少や高齢化が進み、農家だけの力だけでは農地等を守るに限界がある。町内にも遊休農地等が多くあります。その利用方法は。

A 植物を育てること、で心の豊かな人間形成に役立つと思います。

総合学習の中で、鋭意対応しており、地域の皆さんに参加していただいて、交流を深めた農業体験学習を、教育の場で生かしていきたい。

栄養士も教壇に立つて食に対する授業を展開できる準備をしていきます。

遊休農地の所在を把握し、その担い手の確保と、産地の維持活性化に向けた取り組みをしていきたい。

農業は生命産業 農業体験で情操教育



日本共産党の予算要求について 夢のある町づくりに向けて努力



伊藤宗次 議員

Q 10月31日、214項目の予算要求を町長に提出した。

借金返済の大洪水が迫るなかで、自主財源確保になぜ努力しない。資本金10億円以上の30社に14・7%の法人税率課税すれば2億2,000万円余の財源が生れる。

額田町に遅れをとった乳幼児医療無料化。就学前まで入通院共、対象年齢の拡大を。

国保税は酷保税に通じる均等割、平等割の税負担の大幅な引き下げを。2億7,000万円の国保基金活用して実現を。

町民に痛み押しつける前に知恵と工夫を。

A 時の情勢と住民の要望に応えるため、多くの事業が進められた結果起債が行われたものであります。文化、生活面で恩恵はあり償還負担は、やむ

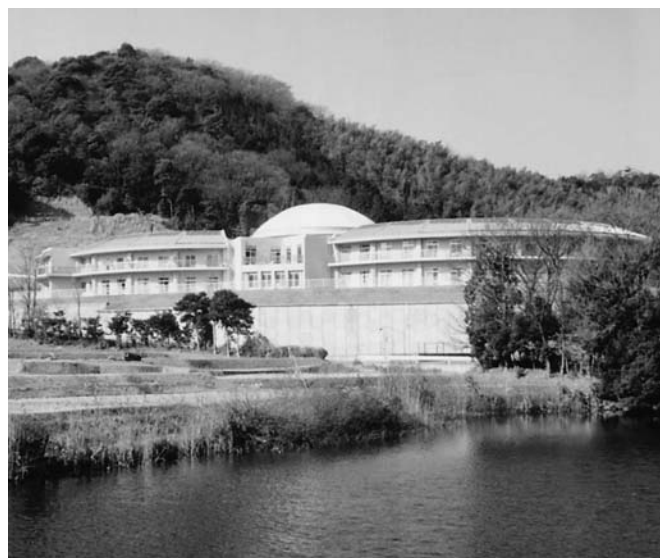
得ないものと思います。税の公平の観点から、30社に14・7%の課税は考えていません。

就学前の児童について、14年度は改善努力したい。国保会計には毎年一般会計から6,7,000万円が投入されており、国保基金を活用して、税の負担引き下げは考えていません。



▲ 夢のある町政に

2番目の特養ホームの整備を 希望的な意向は誘致で



▲ 二つ目の特別養護老人ホームを（まどかの郷）

Q 特別養護老人ホームまどかの郷がオープンして6年目。当初から入所待機者が出ている。待機者の介護実態の調査は

「中学校区に1カ所の特養」と、町長は住民対話集会で述べているが、2番目の特養実現が待たれている。実現の障害はなにか。寝たきりつくらぬ各地の先進事例の取り入れを。特に、下半身の筋力トレーニングは、寝たきりつくらぬ上で重要。資格持つ専門家の指導で筋力トレーニング教室の実現を。

A 入所待機者は37人であります。その方たちの介護実態につきましては状況調査をいたします。中学校区に1カ所の在宅支援センター設置を基本的な考えとしたい。

ウォーキング、筋力アップ、痴呆予防、介護予防の面でもモデル的にスタートしていますが、可能な限り拡大したい。

ふれあい生き生きサロンが15地区で行われております。今後町としても支援させていきたいと思います。



清水幹夫
議員



▲ 子どもたちに生きる力を
育むことが大切

学校完全週5日制に向けて 家庭教育学級と生涯教育の推進

Q 明年4月から学校完全週5日制が開始される。その目的は、子どもたちや社会が「ゆとり」を確保する中で、学校・家庭・地域社会が連携し、子どもたちに「生きる力」を育むことを基本とする。

それにはまず、子どもたちの学校での現状を認識することである。つぎに学校・家庭・地域社会が、この重要な課題にいかに取り組むべきかが、今まさに問われている。

町づくりは人づくりである。今後どのような行政サービスを提供するのかを問う。

A 週5日制の目的は、生活にゆとりを求めることも大切であり、そのためには家庭教育学級、県民大学講座、生涯教育の推進を図りたい。

地域の子育て支援については、親子教室、親子ふれあい広場等、若い母親と子どものために、研修や交流事業を推進していきたい。

今後のキーワードは自然の中での体験活動、そして異なる年齢集団での活動の中から生涯教育の推進に努めていきます。

A 生ゴミの減量化につきましては、処理用機、機械等の補助に、現在1,000戸余りの家庭で利用いただいております。

一般的な生ゴミ、または畜ふんと混ぜた堆肥ですと、高度な施設園芸等には使えないとのこと。農家の方が引き取っていただける

本町は、今後「生ゴミ堆肥化事業にどのような行政サービスを提供されるのかについて問う。

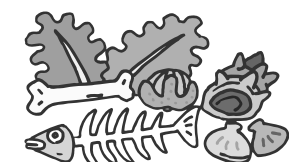
Q 幸田町の生ゴミの年間排出量は2,600t。これを堆肥化することにより、可燃ゴミの焼却量は、40%減少可能である。

「調理や保存を上手にし、無駄なゴミを出さない」そして「出てきたゴミは自然界に循環させていく」この意識が極めて重要と認識する。

生ゴミの堆肥化に向けて 堆肥の引取者確保も大切



▲ 出したゴミは自然界に循環させて



具体的な意向調査を行い、堆肥化に対する取り組みの中で、剪定枝等のチップ化も含めて混入しながら堆肥化努力をしたい。

焼却は極めて大気汚染問題も多く、土中へ還元して行くことが重要な行政課題であると考えます。

予定価格の事前公表で入札改善 事前公表は少し様子を見たい



丸山千代子 議員



▲ 事前公表で節税を

Q 公共工事の公正化、適正化、透明性を高めるため入札制度の改善をすべきである。
過去5年間の予定価格に対する平均落札率は、一般競争入札が98・3%、指名競争入札が93%と高止まりの傾向がある。
予定価格と最低制限価格の事前公表で、談合防止、税金のムダ使いをなくすなど、改善する考えは、すでに、予定価格、最低制限価格の事前公表で節税を実現、談合防止対策で評

A 平成12年からは事後公表をしている12年度の落札率は、一般競争入札で、105件の98・3%、指名競争入札では、63件の98・5%です。この5年間のトータルをしますと一般競争入札で472件の98%です。全国的な動きとして事後公表が35%、事前公表が8・2%と極めて少ない。予定価格の事前公表については少し様子を見ていきたい。

価を得ている先進地もある。見直しについて問う。

Q 10月から介護保険料が満額徴収され、負担額の重さに悲鳴があがっている。
介護保険が強制加入保険である以上、高齢者、家族は必要な介護サービスを受ける権利があり、国や町は保障する責任と義務がある。保険料を払っても必要なサービスを受けられない契約違反がまかり通っている。制度の改善をすべきだ。
誰もが安心して介護が受けられるよう非課税世帯の減免など低所得者対策について問う。

A 特に低所得者等の減免に係る考え方につきましては、具体化に向け努力している。
関係する要綱など整備をしながら、収入の低いと認められる人を対象に、半額にするよう利用料の減免の措置を、平成14年4月から

介護保険の減免制度の実施を 状況を調査して対応する



考えている。
保険料の関係についても、第2段階で、特に収入の低い人に対し軽減を考えている。
非課税世帯の減免は、近隣の市町村の状況も良く調査しながら対応します。





山本 勉 議員

市町村合併と行政改革 合併問題は町民の合意が不可欠

Q 小泉総理大臣は地方分権の推進のために市町村合併の特例法の期限である平成17年3月までに、自治体数を $\frac{1}{3}$ を目標とする、自主的な合併を推進すると答弁された。

(1) 住民対話集会において22の行政区の内13の区から合併について質問がされた。質問内容と町長の回答要旨を問う。

(2) 合併協議会および研究会、検討会の設置について考えを問う。

(3) 職員のやる気を助長する町長表彰。報われるシステム作りは、問題意識を持って新しいものに挑戦する研究経費の支給は、

A 地方分権と情報公開が進む中で合併問題は避けて通れない、市町村が自立をしていく上において不可欠な課題であり、町民の合意が必要と考えられる。

(1) 合併問題は内部的にも十分議論を深めることが必要と考える。

(2) 合併協議会などの設置については、もう少し慎重に対処したい。

(3) 若い職員の柔軟な考え方が、行政に非常に大きな役割を果している。積極的に制度の活用をしていく。



Q (1) 平成14年4月から学校完全5日制となる。週2日の休日は共働き、留守家庭にとって自由時間が多くなり、非行化等心配な問題である。町の具体的な対策は。

(2) 各学区に児童館および学童保育施設の設置を、

早急に検討すべきと思うがその計画は。

(3) 子どもの健全育成対策について、子どもを健全に育てるためには、叱るよりほめるといわれている。

全ての生徒児童の優れた個性を発見して卒業まで



▲ 児童館・学童保育施設の充実を
(中央児童クラブ)

A 留守家庭の児童につきましては、土曜日でありますと全体の7・3%であります。平日では約2割の家庭において留守家庭になっていきます。

(1) 地域のクラブ活動、ボランティアによるクラブ活動の推進など、地域ぐるみで健全育成に努める。

(2) 平成17年度までに全小中学校に学童保育施設ができるよう進めている。

(3) 小中学校の表彰制度につきましては、平成6年に文化賞という形で、顕彰をさせていただいております。

条例制度化の考えはありません。

でに必ず1人1回は賞状とメダルで表彰する。表彰条例制度化の考えを問う。

教育行政週休2日制対策 学童、保育施設の充実を図る

14年度予算編成の基本的な考え 歳出はさらに厳しく査定



内田 等 議員

Q 先の見えない経済不況、個人消費の低迷、税収の伸び悩みで本町における財政状況は非常に厳しい状況下であることは否定できない。

税収の伸びを期待することとは、もはや神話に近いと考えるべきである。国県においても同様と考えられる。この時期、困難に耐え忍ぶことも大切であるが、こうした時こそ萎縮したマイナス思考を吹き飛ばし、日頃の研鑽努力の結果を発揮すべきと考える。

14年度の財源確保に当たっての創意、工夫を問う。



▲ 財源確保に創意工夫を

A 現在の経済情勢は極めて厳しく、税収の落ち込みも心配していますが、幸いなことに、特に大企業等の好調が続いており、14年度の税収については、13年度程度の税収確保は可能であると思います。

歳出面については、行革等色々な面をさらに細かく調整し取り組み、特に経常的な経費については、一層厳しい視点で査定し、これからの要望に応える努力をしていきます。

農村振興総合整備事業の推進を 調和のとれた町づくり

Q 農村振興総合整備事業は、14年度採択、以後5力年で10億円規模の事業である。12年度で各集落でこの事業について説明をされ、地域からの要望も受け農村振興総合整備推進協議会（24人）であらゆる角度から検討された結果、要望事項229項目中42事業を決定されました。

42事業の推進に当たって優先順位を定め、効果的に実施されたいがその考えについて問う。また、この事業で取り組みのできなかった187項目の要望に対する今後の整備の考えは。



▲ 調和のとれた都市と農村に

A 農村振興総合整備事業は、都市と農村部との調和のとれた町づくりを進めていく、多自然型の農業、農村を作っていく事業であり、大いに期待をしています。

この農村整備事業において、もれた事業に対しては、現在単独の県費補助で整備しているものもあり、また、今後国営事業で予定されている溜め池への接続事業も含まれています。

さらに色々な他事業で可能な限り努力します。



中根道夫 議員

安全対策とアクセス道路 地元の理解を得る努力をする

Q (1) マスタープランに載っている国道23号線(仮称)桐山、須美インター周辺に流通ゾーンや工業団地を、衣浦蒲郡線沿いの逆川地区に新たな工業団地を検討すると載っているが、それらの利便性を高めるアクセス道路をプランに加えては。

(2) 国道23号線の歩道のない危険な通学道路への安全対策は。

(3) 軟弱地盤の悪路では、大型車両の通過による振動で、屋根瓦の落下を懸念する声があるが安全対策は。



▲ 国道23号線の安全対策は

A (1) 平面的に見ると、大変効果があると思いますが、これは地形が山合いでもあり、相当の経費投入が予想されます。県も財政が大変厳しいので、検討課題とします。

(2) この道路については、沿道に大きな問題があり、今は非常に難しい状況です。

(3) 地元の方々には、大変迷惑をかけています。交通安全対策については、これまでも、県、国当局に早く対策をするように強く要請をしています。

Q 幸田政策研究会は、14年度予算編成に向けて61項目要望した。健康でにぎやかな家族・互いの理解と協力・緑豊かな自然環境・安全で安心な地域環境、これこそが住民の日常生活の基本的要素であり、可能な限りまずこれを満たすことを問う。

経済・財政状況厳しい時政策的要望は、資金計画・財源を確実にし、展開すべきを問う。

事業の選択・集中化も一つの考えと問い、少しでも住民要望に応えるべく担当自ら乗り出し実現すべきと問う。



杉浦和重 議員

A 住み良い町の条件は、生活環境が整い安全で安心、そして活気とふれあい溢れる町だと思います。

予算編成は、厳しい財政下より慎重さが必要と認識し、本町の将来像を踏まえ総合計画などで示す必要があります。

事業、そして住民対話集会などの多くの皆さんの声を、可能な限り予算に反映するよう鋭意努力する、親切行政などを始めとして、少ない経費でより効果の上がる手法も探りながら行政を進めていきます。



▲ 住民の声を反映した行政に
(住民対話集会)

予算の編成根拠は
総合計画と皆さんの声を大切に



I LOVE TOWN

わが町を思う



住み慣れた 故郷



【野場区】
大須賀明子さん

高齢社会に入り、老人介護が騒がれる中、デイサービスの仕事に携わって6年たちました。

「わしやあ、ここに来るのが一番の楽しみだがん。」の言葉を励みに楽しく働いています。

お年寄りにお聞きすると、住み慣れた幸田で、しかも最期は自宅で迎えたいと考えてみえる人がほとんどです。私も生まれ育ったこの幸田の町が好きです。それだけ「住み慣れた故郷」



というものは「心やすらぐ場所」だということでしょう。在宅介護を続けるには無理はいけません。一生懸命もだめです。適当に力を抜きゆとりを持って行うことです。そのためには、介護サービスをうまく取り入れることだと思います。その在宅介護のお手伝いを少しでもさせていただくことが、今の私の生きがいとなっています。

遠望峰山



【荻区】
山登すみ江さん



嫁に来てはや23年。独身時代よりも長い年月が過ぎてしまった。
子どもの頃は、車の数も少なく車が通れば砂ぼこり。それが今では田畑や山がなくなり、名豊バイパスが進行中。道路が舗装され、交通量が増え、排気ガスで空気が汚染されています。便利になったなと思う反面、自然がなくなってしまうことを寂しく思います。
今私が住んでいる家の台

所からは遠望峰山が一望できます。以前に比べ空気が汚ないせいで山が霞んで見えます。でも雨が降った後は、くつきりときれいに见ることが出来ます。これは自然の恵みによってできる現象だからです。
この風景が変わらないことを願い、自分も自然を大切に、四季折々の景色の変化を楽しみたいと思います。



「はんき老人 バンザイ！」

時の話題



本町では昨年9月より「げんきかい」を発足し、虚弱老人が「閉じこもり症候群」から寝たきり状態になることを防止し、生き生きとした生活を確保し、地域の人々とのコミュニケーションを図り、痴呆予防と健康の維持増進を図るのを目的に開催されております。

・開催日時

平成13年9月～
14年3月

週2日（火・木曜日）
午前10時～11時30分

・場所

坂崎公民館

・対象者

坂崎学区在住の老人

・ケアワーカー

鈴木敏子先生（浜松市）

『げんきかい』 で元気に



【坂崎区】
近藤功一さん

9月より坂崎公民館において、町の送迎バスが運行され毎週木曜10時よりげんきかいが始まり坂崎は毎



回30人余の出席があります。講師の鈴木敏子先生を始め保健婦や、保健推進員の方々の熱心で絶妙な指導により、指体操やゲーム、五つの記録に挑戦、その他多彩な遊戯などが笑いの中で、愉快地繰り広げられます。

朗らかムードで爆笑あり、高齢者にいい刺激あり、交流を深め童心にかえりポケ防止など、げんきかいの今後益々の発展と飛躍を祈ります。

『おい げんきかい』



【長嶺・久保田区】
げんきかい一同
鈴木文子さん

「げんきかい」が始まっ
てはや4カ月が過ぎゆきま
す。指の運動、ゲーム、な
ぞなど、トランプ、お手玉
と昔懐かしい遊びを色々
しました。

今まで話をしたこともな
い者同志の明るい笑顔、大
きな笑い声、歓声と感動で
いっぱいです。逢う度毎に
あの人の人々の元気な笑顔
が見えて、とてもすばらし
い会です。



レポート

◆ Report ◆

総務

町民の声を 反映させる行政に



▲ 電子決裁システム
による春日市役所

幸田町が今後取り組んで行くCATV、行政評価、LAN等について、既に取組んで大きな実績を上げている佐賀県唐津市、大分県臼杵市、福岡県春日市の三市を、10月3日～5日にかけて視察しました。

唐津市はCATVにより地域間の情報格差を解消するため、既存の有線放送施設を有効活用し、効果的な情報化を推進して中心市街地をNTTの地下管路を利用した工法を行っています。臼杵市は全国の自治体の中で、自ら必要性を感じ、自らの手でバランスシート（行政評価）を作成し、そ

れを読み取り、財政状況を勘案しながら次年度の予算編成を行った自治体で、今後さらに細分化した事業ごとの分析をすることにより、財源コスト意識や住民サービスの向上につながる考え方をもっておられました。春日市は庁舎内にLANケーブルを整備し、一般文書の電子決裁、申請、届け出のオンライン化、財務会計など積極的に取り組んでいます。各市ともにいろいろ特徴がありますが、これからの高度情報化社会への取り組みに、大きなステップとなった視察でした。

議会運営

議会放映で 議会は活性化

幸田町のケーブルテレビ（CATV）事業導入に先立ち、これを利用した議会放映のあり方および整備するシステム等について研修すべく、10月16・17日先遣地視察を行った。

【岐阜県国府町】

国の補助採択を受け総事業費約12億円を投じ、完全双方向化による施設として、平成13年より供用開始。運営は町単独である。

町議会の放映について
・一般質問はノーカットで放映。

・委員会はニュース性のある部分のみ、撮影後ナレーションを入れて放映。

【岐阜県八幡町】
完全に民間事業者の経営であり、町は財政負担を含めプログラム、放映内容など一切関与していない。議会放映については一般質問のみ、後日放映。

両町とも議会放映は高視聴率であり、議会も活性化して来たとのこと。

CATVの本来目的である「地域の活性化」という点から、番組制作など業者まかせだけでなく、どう行政が係わっていくかが重要であるという点を強く感じた。大変参考となる視察であった。



▲ 議会放映を積極的に行っている国府町

視察

総合開発

まちづくりは 住民合意が大前提

10月12日、岐阜県穂積町の犀川遊水地を視察。犀川遊水地は、国土交通省所管で遊水面積70ha、遊水容量230万 m^3 。長良川上流部に位置し長良川の流量軽減と内水洪水被害の軽減を目的に設置された。

犀川河道改修は、低水敷と高水敷の2段河川敷を設け、高水敷は公園利用を計画。河道改修の掘削土135万 m^3 の捨場を右岸30・5ha確保し、区画整理事業を国事業関連でうまく取り入れた事業を実施。

滋賀県八日市の駅前区画整理事業は、行政主導の



▲ 風と音と大風のある街・八日市市

机上計画で取り組んだが、住民の反対で計画断念に。5年後、住民主体で6.5haの駅前区画整理事業を立ち上げ、本年度換地処分で完成。68億円の事業費。

駅前広場3、000 m^2 は、長方形で土地利用の失敗例を見た。

区画整理地区と未整備地区が道路一本へだてて共存し、未整備地区の商店街には人も通らず、薄暗く活気もなく、その明暗があまりにも鮮明で商業地区や駅前の街づくりのあり方、進め方で考えさせられた事例であった。

袋井市議会 編集委員が来町

11月22日に静岡県袋井市議会の編集委員が、研修のため来町されました。

会編集委員と意見交換が和やかなうちにも、活発に行われました。

袋井市は東海道五十三次宿場の中で、ちょうど真中に位置し、歴史の町、産業の町、そして今、東海道線に新駅と合わせ、5万人収容のスタジアムの完成で、静岡県でもさらに発展が注目される市であります。

また、表紙はシリーズ形式で考えられているなど、参考となる研修でした。

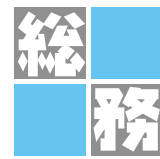
午前中は町民会館を見学され、午後から本町議



▲ 袋井市議会編集委員と意見交換

委員会活動報告

Activities Report



第7次交通安全計画が示される

13年11月26日協議会が開催された。主な協議事項は次のとおりである。相も変わらず交通事故死が、町内でも起きている。昨年(13年)、一年間で交通事故死者数は全国で8、747人で20年ぶりに9、000人の大台を割った。愛知県は403人で12年よりも40人減少した。こうした中、第7次(平成13年～17年)幸田町交通安全計画が示された。

交通事故がもたらす社会的、経済的損失をも勘案し

て、交通事故および、これによる死傷者根絶を目的としたものであります。特に交通環境の整備を重点におき、交通施設の整備を進める計画であります。

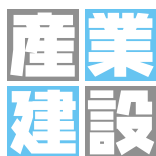
道路の状況、交通事情等により、道路照明、ガードレール、横断歩道、自転車横断帯等々の設置を関係機関に積極的に要望していく内容である。

また、ケーブルテレビ、ケーブルインターネットの幸田町導入計画についても詳細について説明を受け協議した。

12月25日に三河湾ネットワーク株式会社を視察し知識を深めた。



▲ 交通環境の整備を重点に
(交通安全運動・ドーナツ作戦)



市街化周辺への 下水道工事始まる

全町下水道化のもとに、

深溝の市場区・里区・海谷区の調整区域の下水道事業が、14年度より受益者説明会と区域の確定を行い、工事を始めます。

15年度から負担金を集める予定であり、額は公共下水・農業集落排水・他市町のケース・本町の財政状況など勘案して決めるとの報告がありました。

委員より、財政厳しいが

環境衛生そして河川の水質浄化のために、早急な完成を求める声が多かった。

■剪定枝のチップ化

剪定枝の処理に、シルバー人材センター・果樹農家・一般家庭などが困っているのが現状である。適正処理のためチップ化事業に

試行的に取り組む、との報告がありました。

14年度内に移動式機械でスタートし、畜糞水分調整材などで再利用し、坂崎地内に集積処理場を設け、利用料は持ち込み出張など含めて検討中とのこと。委員より、大気汚染からの再利用の必要性・安全対策についての意見が多かった。



剪定枝の粉碎機

町内3中学校の視察を終えて



▲ 開かれた学校づくりを目指して

10月4日、教育委員会と
合同で、幸田町内3中学校
の視察を行いました。
授業を観てから、校長室
で学校の経営方針や現状報
告を受けた後、要望事項や
意見交換の場を設けました。
町内3中学校では、「す
べてを生徒のために」を実
践目標とした取り組みが展
開されていました。一部、
授業になじまない生徒はあ
るけれども、保護者や地域
から信頼される開かれた学
校づくりをめざして頑張っ
ておられる教職員のフアイ
トあふれる姿に、深い感銘

と安どを覚えました。
幸田中学校では、委員全
員に感想文の提出を求めら
れました。多忙な校務の中
で、外部の意見をとり入れ
ようとする積極的な姿勢を
強く印象づけられました。
4月から学校5日制が実
施され、生徒は1年間の
3/4時間は学校を離れた生活
となり、家庭と地域の担う
責任は更に大きく重要にな
ります。家庭・地域・学校
の連携強化を図るために、
信頼される委員会としてさ
らに努力していきます。

環境施設 整備対策

処分場視察研修会

研修内容

本委員会は11月6日幸田
町最終処分場建設のための
視察研修会を行いました。

概要

(1) 西尾幡豆クリーンセン ターふれあい広場

平成12年4月稼動。全
連続燃焼式焼却炉で195t/h
の処理能力を有する。
炉で発生する熱を熱源
として施設の電力、隣接
の温水プールのエネルギ
ーへと利用。
焼却灰および一般不燃
廃棄物はセメント固化に
より衣浦ポートアイラン
ドに埋立て、灰、7、8
00円/t、不燃ゴミ、7、
300円/tである。

(2) 蒲郡クリーンセンタ ー最終処分場

焼却灰はボイラ、減温
塔、バグフィルターで捕
集しセメント固化のもと
処分する。
処分場は平成12年4月
供用開始、埋立面積12、
700㎡、埋立容量11
3、000㎡、電気式漏
水検知方法を有し、浸出
水処理においてはダイオ
キシン、カルシウム除去
処理の対応を可能として
いる。
幸田町では9候補地が3
候補地に選定されました。
現在第二次選定業務が行
われております。



▲ 蒲郡市の最終処分場を視察

議員定数は

現状維持

議員定数検討委員会

平成13年2月13日議長の諮問機関として「議員定数検討委員会」を設置しました。委員の構成は、小学校区から各1人、党派派から各1人の計11人で、10月25日まで6回委員会を開催し議論を重ねてきました。行政改革や経費節減といった面からのみ論じるのではなく、議会の役割、住民の多様化するニーズや意見をどのように反映するか、また、議会は委員会主義をとっていることから、円滑に活動できるかなど、いろんな観点から十分議論を尽くした結果、11月21日の委員会で「現状維持」で決定、議長に答申書を提出しました。

今後、地方分権の進展とともに町民参加の町づくりが、大きくクローズアップされてきています。町民の代表としてのあり方、議会の活性化の議論にとどまらず、町民に親しまれる議会を目指します。

あなたも議会を 傍聴してみませんか

3月議会の本会議は、
下記のとおり行う予定です。

●会期の日程

- 4日(月) 開会、議案の説明
- 7日(木) 一般質問
- 11日(月) 一般質問
- 12日(火) 議案の質疑
- 13日(水) 議案の質疑
- 29日(金) 閉会、討論・採決

●場所 役場5階 議場

●時間 午前9時より

◎詳しくは議会事務局へ

☎63-5151

自治体と 国の政治は

明治大学名誉教授
元学長

岡野加穂留氏



11月21日一色町で、三河4郡11町村の議員170人が参加しました。

自治体のトップとしての考え方の見直し、国政の現状、弱者のための政治(福祉)の重要性など、21世紀を見極めた内容で意義ある研修となりました。

また、愛知県知事神田真秋氏による2005年日本国際博覧会について講話がありました。

議員 研修会

10月31日一色町で明治大学の牛山助教より「地方分権の進展と行財政体制の整備・確立」のテーマで西三河5町の研修会が行われました。今後の、地方分権の進展に伴う議会のあり方を、今までと違った観点から見ることが必要で、地方議会の自主性を強化すべきと感じました。



編集 後記

21世紀幕開けの昨年は、まさに激動の年でありました。世界的不況の中、日本もまた、出口の見えない不景気にあえいでいる状況であります。

不況に追打ちをかけたのが9月11日アメリカでの同時多発テロで、数千人が犠牲となるといって決して忘れることのできない悲しい事件がありました。そんな中、12月には国民待望の敬宮「愛子」さま誕生といううれしいニュースもあり、何とか新しい14年は良い年でありたいと願うばかりであります。

私達「議会だより」でも、新春特別企画として、6人の女性にお願いして、座談会を行いました。始めは、緊張されていた皆さんも、すぐに打ちとけ、いろいろな意見や鋭い質問、提言もいただきました。今後の参考にさせていただきます。今年も続いて愛読下さるよう、よろしく願います。